

調査票

「無電柱化における管路部等の低コスト化に資する技術」

(特殊部)

技術名称

(副題)

提出日

令和2 年 月 日

所属

氏名

※公表を予定している技術比較表に必要な情報ですので漏れがないように記入願います。なお、記入枠等の条件から、別途資料を添付することは構いません。
※該当する項目については、原則すべて記入願います。不明な場合は、「応募資料作成要領」記載の「問合せ先」にご連絡願います。

【必須事項】技術基本情報	外観
--------------	----

(A-1)外観

確認事項： 外観の確認

外観イメージ写真 等

技術基本情報

【必須事項】技術基本情報	材料の種類
技術基本情報	<p>(A-2)材料の種類</p> <p>確認事項： 使用している材料の明示</p> <p>(資料例)</p> <p>使用材料の説明資料</p> <p>※使用している材料の明示、代表的な配合表の明示</p>

【必須事項】技術基本情報	使用環境
技術基本情報	<p>(A-3)使用環境</p> <p>確認事項： 本技術適用の場合の環境条件</p> <p>(資料例)</p> <p>温度条件、環境条件の説明資料 周辺環境への影響に関する説明資料</p> <p>※</p> <ul style="list-style-type: none">・温度条件等、配慮すべき事項があれば明示 <p>例1:適用温度範囲○℃～○℃ 例2:酸性、アルカリ性環境への適用 等</p> <ul style="list-style-type: none">・周辺環境に及ぼす影響に関して特記すべき事項があれば明示

【必須事項】技術基本情報

寸法・形状

(A-4) 寸法・形状

確認事項： カタログ等に表示された製品の寸法・形状等の明示

代表的な製品の寸法・形状を一覧表にして明示
必要に応じて構造図を提示して下さい。

※(A-4)、(A-5)、(A-6)をまとめて一覧表に明示していただいても構いません。

技術基本情報

【必須事項】技術基本情報	重量
--------------	----

(A-5)重量

確認事項： 代表的な製品の重量、部品の個別の重量

代表的な製品の重量を一覧表にして明示
必要に応じて構造図を提示して下さい。

※(A-4)、(A-5)、(A-6)をまとめて一覧表に明示していただいても構いません。

技術基本情報

【必須事項】技術基本情報

価格

(A-6) 価格

確認事項： 代表的な製品の材料費、施工費の明示、単位容積あたりの単価の明示

材料費は、単位内部收容空間容積あたりの単価(内部の收容空間の容積および機能に応じた製品の価格を示す。)

施工費は、1基あたりの施工単価

(単位内部收容空間容積あたりの単価について)

例えば、内空断面(幅1200mm×高さ1350mm×長さ3000mm)の特殊部製品が100万円、施工費が10万円であれば、

単位容積あたりの材料単価は205,760(円/m³)となる。(100万円÷(1.2×1.35×3.0)=205,760)

施工単価は100,000(円/基)となる。

※(A-4)、(A-5)、(A-6)をまとめて一覧表に明示していただいても構いません。

【必須事項】技術基本情報

複合構造の構成

(A-7) 複合構造の構成

確認事項： RC構造、UFC製、REC製等の複合構造の構成

複合構造の構成の説明

鉄筋コンクリート(RC)のような複合材料として荷重を負担する構造、あるいは超高強度繊維補強コンクリート(UFC)やレジンコンクリート(REC)のような単一のマス材料で圧縮・引張の両荷重を負担する構造、シェル構造+被覆保護材など、主として力学的な意味での複合構造の構成を明示

技術基本情報

歩道部へ適用が可能である

選択 (選択する場合✓を入れてください。)

(B-1)歩道部へ適用が可能である。

設計荷重:T-25(1輪50kN) 衝撃係数:i=0.1 の設計荷重に対して耐えられること

※設計計算書

以下の仕様の設計計算書を提出

- ・設計荷重:T-25(1輪50kN) 衝撃係数:i=0.1
- ・内部の収容空間の断面:特殊部 I 型[幅1200mm×高さ1350mm×長さ3000mm](電力・通信の共用型)
特殊部 II 型[幅750mm×高さ1100mm×長さ1500mm](電力または通信の単独型)
- ・蓋の仕様: 鋳鉄蓋の角蓋(全面開放型)

※設計計算書の概略を下記に記載し、添付資料として設計計算書を添付して下さい。

- ・材料や構造が特殊な場合、別途個別に検証が必要となる場合がある。
- ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕(安全率)を確保した設計を行う。

歩道部へ適用が可能である

車道部へ適用が可能である

選択 (選択する場合✓を入れてください。)

(B-2)車道部へ適用が可能である。

設計荷重: T-25(1輪100kN) 衝撃係数: $i=0.4$ (土被り1m未満とする)の設計荷重に対して耐えられること

※設計計算書

以下の仕様の設計計算書を提出

- ・設計荷重: T-25(1輪100kN) 衝撃係数: $i=0.4$ (土被り1m未満とする)
- ・内部の収容空間の断面: 特殊部 I 型[幅1200mm × 高さ1350mm × 長さ3000mm] (電力・通信の共用型)
特殊部 II 型[幅750mm × 高さ1100mm × 長さ1500mm]
- ・蓋の仕様: 鋳鉄蓋の丸蓋

※設計計算書の概略を下記に記載し、添付資料として設計計算書を添付して下さい。

- ・材料や構造が特殊な場合, 別途個別に検証が必要となる場合がある。
- ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕(安全率)を確保した設計を行う。

車道部へ適用が可能である

民地部へ適用が可能である

選択 (選択する場合✓を入れてください。)

(B-3)民地部へ適用が可能である。

設計荷重:5kN/m² (群衆荷重)の設計荷重に対して耐えられること

※設計計算書

以下の仕様の設計計算書を提出

- ・設計荷重:5kN/m² (群衆荷重)
- ・内部の収容空間の断面:特殊部 I 型[幅1200mm×高さ1350mm×長さ3000mm](電力・通信の共用型)
特殊部 II 型[幅750mm×高さ1100mm×長さ1500mm](電力または通信の単独型)
- ・蓋の仕様: 鋳鉄蓋の角蓋(全面開放型)

※設計計算書の概略を下記に記載し、添付資料として設計計算書を添付して下さい。

- ・材料や構造が特殊な場合, 別途個別に検証が必要となる場合がある。
- ・材料や構造が特殊な場合にも、従来の材料・構造を用いた場合と同等の安全余裕(安全率)を確保した設計を行う。

民地部へ適用が可能である

【必須事項】必要な諸性能

低コスト化

(B-4)低コスト化技術である

評価指標: 低コスト化に資すること

下記の特殊部の従来技術とのコスト比較
コスト比較計算書の提示

内部の収容空間の断面:

特殊部 I 型 [幅1200mm × 高さ1350mm × 長さ3000mm]

特殊部 II 型 [幅750mm × 高さ1100mm × 長さ1500mm]

【必須事項】必要な諸性能

効率的な設置

(B-5)効率的に設置できる

評価指標: 効率的に施工(設置)できること

下記の特殊部の設置手順書

内部の收容空間の断面:

特殊部 I 型 [幅1200mm × 高さ1350mm × 長さ3000mm]

特殊部 II 型 [幅750mm × 高さ1100mm × 長さ1500mm]

軽量の材料で構成され、小さな重機、スペースなどで施工できるなど、工期、道路交通の軽減などについて明示して下さい。

材料情報

使用材料の強度、物理的特性 等

使用材料の特性が明らかである

(C-1) 使用材料の強度、物理的特性 等

根拠資料名：

以下の試験結果等

- ・引張強度試験
- ・圧縮強度試験
- ・曲げ強度試験
- ・弾性係数試験
- ・その他の強度試験 等

※実施した試験方法を具体的に明示し、その結果を示して下さい。

材
料
情
報

材料情報

耐久性

使用材料の特性が明らかである

(C-2) 耐久性

根拠資料名：

以下の試験結果等

- ・耐薬品性試験
- ・長期信頼性に関する試験
- ・その他の耐久性試験 等

※実施した試験方法を具体的に明示し、その結果を示して下さい。
長期信頼性に関する試験結果があれば明示してください。

材
料
情
報

材料情報

耐燃性

(C-3) 耐燃性

根拠資料名:

根拠資料例

・耐燃性試験 等

※実施した試験方法を具体的に明示し、その結果を示して下さい。

材
料
情
報

材料情報	耐熱性
------	-----

(C-4) 耐熱性
根拠資料名：
根拠資料例
・加熱圧縮試験 等
※実施した試験方法を具体的に明示し、その結果を示して下さい。

材
料
情
報

施工性

設置手順

設置、施工品質が確かであること。ケーブルを収納できること。

(D-1)設置手順

根拠資料名：

自社の施工マニュアル等から、埋設手順について明示して下さい。
添付資料として、自社の施工マニュアル等のコピーを添付して下さい。

施
工
性

施工性

管路の特殊部への接続方法

設置、施工品質が確かであること。ケーブルを収納できること。

(D-2)管路の特殊部への接続方法

根拠資料名：

自社の施工マニュアル等から、管路の特殊部への接続方法について明示して下さい。

添付資料として、自社の施工マニュアル等のコピーを添付して下さい。

自社で実施した、使用材料や形状に応じた試験方法を具体的に明示し、試験結果を記載して下さい。

施工性

施工性

管路と特殊部の接続部分の性能

(D-3)管路と特殊部の接続部分の性能

根拠資料名：

以下の確認試験結果等

- ・接続部が抜けにくいこと
- ・接続部が変形追従性を有していること
- ・特殊部の側面部にも管路を接続できること 等

施工性

維持管理性	特殊部函体の点検方法
維持管理性	<p>維持管理がしやすいこと</p> <p>(E-1) 特殊部函体の点検方法</p> <p>根拠資料名：</p> <p>自社の点検マニュアル 等から、特殊部函体の点検方法について明示して下さい。</p>

維持管理性

交換、増設、撤去の方法

維持管理がしやすいこと

(E-2) 特殊部の函体自体の交換、増設、撤去の方法

根拠資料名:

自社の施工マニュアル 等から、特殊部の函体自体の交換、増設、撤去の方法、手順について明示して下さい。

維持管理性

維持管理性	LCCの縮減
維持管理性	<p>(E-3) LCCの縮減</p> <p>根拠資料名：</p> <p>当該製品を使用した場合の50年のLCCの従来製品との比較</p> <p>※技術公募後、各応募技術の内容を参考にした上で、別途共通の条件を設定し、LCCの比較を行う予定です。</p>

その他の技術の特徴

(F-1)その他の技術の特徴

その他のPRLしたい特性、留意事項等の項目があれば明示して下さい。

※添付資料として根拠資料を提示して下さい。

その他の
特性

非公開情報(参考情報)

非公開情報は、当該技術の特徴を整理する際の参考にするもので、公表はしません。

(G-1)特許・実用新案

特許等を取得している場合、特許番号、特許名称を明示して下さい。

添付資料として、公開特許公報のフロントページ(特許番号、発明の名称が記載されているページ)のみ、コピーを添付して下さい。

(G-2)第三者評価・表彰等

・審査証明・技術評価等を取得している場合、その制度の名称、証明内容等を明示して下さい。

添付資料として、公的機関の評価等のコピーを添付して下さい。

・表彰経歴がある場合、その制度の名称、表彰内容等を明示して下さい。

添付資料として、賞状等のコピーを添付して下さい。

(G-3)実施件数等(ラボ試験含む)

実施件数等について明示して下さい。